

医師は語る



医療法人社団健翔会
堀口医院 理事長
堀口 裕

ここ数年異常気象をはじめ、おかしい自然現象が続いています。雨といえば、バケツを引っくり返したような豪雨が突然やってきて、アッと言う間に泥流が発生します。あるいは、夏は暑いのが当たり前と分かっているのですが、日本で四〇度を超える夏など想像できませんでした。また気温と海水温の上昇のため南極の水がどんどん溶けだし、海面も上昇しているようです。そして世界中でいろいろなウイルスが猛威をふるい、生きものの生命が脅かされています。日本国内のデング熱もその一つです。何故このようなことが起こるのでしょうか？ 自然のことなので、仕方ないのでしょうか？

すでに多くの人が指摘しているように、やはり地球上に住む私たちにも原因があるように思えます。より豊かな暮らしを求めて、またより快適な環境を求めるあまり、大切な自然を破壊してしまったのです。たとえば石炭や石油などの化石燃料を使って沢山の工場で作る、焼却炉で大量のゴミを燃やし、そして車や飛行機をどんどん走らせ、その結果空気中に二酸化炭素(CO₂)を増やし続けました。もともと二酸化炭素は地球の表面(地表)を暖める働きをしています。が増え過ぎると地表の空気に熱がこもって気温が上昇します。いわゆる地

球温暖化現象です。実は、これがそれが大規模な自然災害の誘因になっているのです。

しかし自然破壊のつければ、異常気象やウイルスの蔓延だけではありません。何よりも私たち自身の体が破壊されているのです。極端に暑かったり、季節外れの大雪が降ったり、気圧が急に低くなったり、快晴の日が突如大雨に変わったり、私たちの体は目まぐるしい気候変動についていけないのです。それは自律神経が甚だしく不調になり、酷い肩凝りや頭痛、めまい、関節痛、動悸、血圧上昇、体の著しい倦怠感など様々な症状がでてきます。さらに免疫バランスも悪くなり、風邪やインフルエンザなどにも罹りやすくなります。すなわち自然破壊は自律神経のバランスを乱し、自己防御力(自分で病気を防ぐ力)を低下させます。そして自己防御力の低下は、「病気の根」を意味します。それが長期的に続けばやがて「病気(正確には病気の幹)」を引き起こします。恐らく今後、年配の方のみならず若い方にも病気が起こりやすくなり、しかも重篤化する可能性があります。そうなれば社会を支える人たちが減少し、まさに人類の危機をむかえることになります。



それではどんな対策を講じればよいでしょうか。いまからでも決して遅くありません。少しでも自然破壊を減らすべきです。しかしこれは化石燃料の消費を減らせれば解決できるという問題ではありません。何よりも、より豊かな暮らしを求めたいという私たち自身の「こころ」を制することが大切です。また、たとえ自然が壊れ続けても私たち一人ひとりが病気になる難い体を作ることが必要です。すなわち日頃から自己防御力を高めてほしいのです。その目的のために、可能な方から「還元電子治療」を始め下さい。

「堀口裕先生プロフィール」

北海道出身。川崎医科大学医学部卒業。一九九二年香川県坂出市で医療法人社団健翔会 堀口医院を開院。現在堀口医院理事長兼院長を務める。世界で初めて細胞の中を調べる「細胞内検査」を独自に考案され、世界各国で特許を取得。またその細胞のコンディショニングを取り戻すための「還元電子治療」を独自に開発。二〇一一年五月、世界中医薬学会連合会、自然療法研究専門委員会、副会長に就任。現在は、病気の根を調べる「自己防御力診断」と病気の根を治療する「還元電子治療」を駆使し、全国で一万六千人以上の患者の治療に取り組み傍ら、「根元の医療」と呼ばれる新しい医療を推進し、全国で講演活動を行っている。

どんな病気にも

病気の根が存在していた

病気の根を抜かない限り、病気は何度でも繰り返される。もしも本気で病気を治療(ちゆ)させたいと思うなら、病気の根を抜き取ることである。それが病気の治療方程式である。だが病気の根を抜く力は、自分しか存在しない。他人にお願いすることなど、絶対に不可能と知るべきである。

読書の秋、何を読む？

BOOK INFORMATION



病気の根を抜く医療

～患者さんの学んだこと、それは病気の根は根っこが病気の元～



いま、病気の謎を解き明かす！



●病気の根を抜く医療／アビックス
著者：医療法人社団健翔会 堀口医院院長 堀口 裕
ハズしまぶくろクリニック 院長 島袋 隆
¥1,800＋税